

大井町総合計画審議会における大井町人口ビジョン改訂(案)に対する意見への対応・修正

| 該当頁 | 箇所 | 意見概要 | 意見への対応・修正 |
|-----|-----------------------|--|--|
| | | <p>「5年後の大井町のリーダーシップ」を加えていただきたい。つまり、各分野で県西地域全体の中で広域行政を進めていくことが必要だという趣旨である。多くの分野で物事が成就することが少なくなってきたおり、他の市町と協働し、協力し、巻き込んで進めていくという行政の考え方は不可欠である。広域行政を意識したまちづくりは、人口減少のなかで大切なことである。人口ビジョンに「広域行政」の項目を考慮できないか。</p> | <p>委員のご意見のとおり、人口減少を踏まえれば、ますます広域で施策を進めていくことは重要になってくると考えます。しかしながら、人口ビジョンは、大井町の人口動態や町として必要な施策の概略の記載に留まるものです。町では、広域化する行政需要や多様化する課題に対し、近隣市町と協働して実施していく必要があると考えておりますので、総合計画における「広域行政」による取り組みを推進するとともに、その他の施策においても、広域での視点を踏まえて取り組んでいきます。</p> |
| 5 | 図表5-2「合計特殊出生率の近隣市町比較」 | 説明に「2013年には県内33自治体中30番目の数値となりました。」とあるが、なぜそうなったのか。 | <p>合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当するものと解されています。</p> <p>11頁にある図表14では、2011～2014累計の15～49歳までの女性は、掲載累計のなかでも一番多く転出超過となっており、こうしたことが要因となって、合計特殊出生率が低くなったと考えられます。</p> |
| 8 | (3) 転入・転出の状況 | <p>どうして転入、転出が多くなったのか、その分析をしないとこの先の対策施策が見えてこないのではないか。“こうありたい、めざします”とあるが、実現できるのか。</p> | <p>委員のご意見のとおり8頁の説明が不足していたと感じますので、8頁の説明分下から3行目以降の文中に下線部の文言を追加します。</p> <p>「2009年以降は、<u>大手法人の移転・再編の影響により転出者数の方が多くなり・・・2017年以降は、大規模分譲地への転入者により転入超過に転じ・・・</u>」</p> <p>また、22、23頁において図表等の人口動態に対する分析と今後必要となる取り組みとして、出生率の向上、転入・定住の促進や雇用の創出等を挙げております。これらを総合計画における戦略事業を中心に盛り込み取り組んでいきたいと考えています。</p> |

| 該当頁 | 箇所 | 意見概要 | 意見への対応・修正 |
|-----|--|---|---|
| 22 | (1)人口の現状と変化が将来に及ぼす影響の考察 ②まち・しごとの動向による影響 | ■文中1行目の「町内で働く人、特に町外に居住して町内で働く人が大きく減少しています。・・・」とあるが、減少の理由として、大手企業の一部転出だと思いが、「大手企業の転出の影響により」と明記したらどうか。 | 委員のご意見のとおり、■文中に下線部の文言を追加し、「 <u>大手法人の移転・再編の影響により、町内で働く人、特に町外に居住して町内で働く人が大きく減少しています。・・・</u> 」とします。 |
| 22 | (1)人口の現状と変化が将来に及ぼす影響の考察 ②まち・しごとの動向による影響 | ■文中3行目の「・・・大井町がベッドタウン化しているとも考えられ、職住近接を求めて・・・」とあるが、町内での就労人口の大幅な減少の理由は大手企業の転出であり、ベッドタウン化とするのはいかがか。大井町に住み、町外で働く人の受入れは非常に大切である。 | 図表16-1における町内在住で町外に働きに行く人の構成比が約7割となっていることや図表15において、2015年では夜間人口が昼間人口と大きく乖離していることから「ベッドタウン化」と表記しました。 しかしながら、ニュアンスによりベッドタウン化とするとマイナス面に捉えられることがあることを踏まえ、文中から「 <u>大井町がベッドタウン化しているとも考えられ、</u> 」を削除し、「・・・職住近接を求めて・・・」とします。 |